

1 学校教育目標

- よく考えて 進んでやりぬく子
- あかるく強く たくましい子
- みんな仲よく 助け合う子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○確かな学力と豊かな心、健やかな体をはぐくむ学校 ・学力を定着させる学校 ・体力・運動能力を高める学校 ・豊かな人間性をはぐくむ学校 ・家庭・地域・学校が協力し合う学校
○児童・生徒像	○自信とやる気があり進んで行動し、互いに認め合い高め合う児童 ・様々なことにチャレンジし、目標をもって努力して課題を解決しようとする児童 ・思いやりの心を持ち、友達と仲良く、元気に生活する児童 ・共に考え、共に学び、協働して高め合うことができる児童
○教師像	○子供に最善の教育を行うために、子供と共に自ら伸びようと努力し続ける教師 ・敬愛され、児童・保護者・地域に信頼される教師 ・自己研鑽に努力を惜しまない教師 ・教育の専門職としての力量と誇りをもつ教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

<学校の現状>

○児童について

明るく純粋な児童が多い。基本的な生活習慣・学習習慣に課題のある児童が多い。これらの習慣を育むとともに学習規律を確立し、主体的に学んだり活動したりするとともに、対話的で深い学びを推進する。

○教師について

教職経験の少ない教師が半数近くを占める中、指導力向上は重要な課題である。またこうした課題は、他区から本校を2校目として異動してきた教師にも潜在する。学力定着推進委員や教科指導専門員の指導やOJTを含めた校内での研修の機会を充実させることによって、授業改善に努め、その結果として学校としての教育力を高めていく。

○保護者・地域について

地域の方々は、学校の教育活動に理解を示し、様々な健全育成にかかわる活動を実施してくださっている。授業参観等の参加率が低く、学校教育に対して無関心な保護者が多い。保護者が本校の教育活動に参加できる機会を増やし、家庭との連携を深めていく。

<前年度の成果と課題>

重点的な取組事項－1 学力の向上

○基礎学力向上策を充実させ、定着を図る。

重点的な取組事項－2 幼保小中の連携

○連携の推進と円滑な接続をめざす。

重点的な取組事項－3 心の教育の推進

○自他を尊重する気持ちと態度の育成をめざす。

学力の向上に関しては、当該学年での学習内容の確実な定着（足立区学力調査結果の通過率を高め、都及び国調査の平均値を超える。）ことを目標として進めてきた結果、国語＝81.5、算数＝81.9、2科＝81.7となり、国語、算数、2科の通過率とも区平均を上回ることができた。また過去5年を遡っても、年々結果は向上している。この力を継続・定着・伸長していくことが目標である。幼保小の連携では足立このみ、谷在家保育園の2園と、小中の連携においては、西新井中、西新井第一小、西新井第二小の3校のブロックで連携を深めた。心の教育の推進に関しては、年間4回、外部から講師を呼び、道徳教育の研修会及び研究授業を行なった。教科化に向けて大きな成果が得られた。

4 重点的な取組事項						
番号	内容	実施期間				
		28	29	30	31	32
1	授業力の向上並びに学力の向上	○	○	○	○	○
2	幼保小中の連携	○	○	○	○	○
3	心の教育の推進	○	○	○	○	○

5 平成31年度の重点目標

重点的な取組事項－1		授業力の向上並びに学力の向上
A 今年度の成果目標		平成31年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標
当該学年での学習内容の確実な定着（足立区学力調査結果の通過率を高め、都及び国調査の平均値を超える。）		4月区調査—通過率(国算2科)80% 年度末再調査—80%
B 前年度の取組み内容		
項目	具体的な方策	
パワーアップタイム	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査分析を基に学年全体の課題となる内容を吟味し、段階的に定着を図っていく。また分析結果によって得られた方策を徹底して行い、その結果を検証し、改善し、実行していく。 ・朝のパワーアップタイムに読書と音読を取り入れ、読書活動、表現活動の充実を図る。 	
放課後補充指導・補習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京ベーシックドリル」「習熟度プリント」などを教材に活用する。 ・全校体制で指導に取り組むとともに、分析結果によって得られた方策を徹底して行い、その結果を検証し、改善し、実行していく。 	
プレジデントタイムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、昼休みに校長及び副校長が指導する。 ・夏季休業中の補充教室において、各学年における下位層の児童を取り出し、管理職が指導を行う。 ・一斉指導において個別指導が必要な児童への取り出し指導を行う。 	
校内若手研修会、ミドルリーダー研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員には教師としての指導法の基礎基本、指導案作成、教員としてのマナー等を、中堅教員には、各分掌でのリーダーシップ力育成、専門性の向上を目的とした研修会を実施し、指導力の向上を図る。 	
C 前年度の成果と課題		

重点的な取組事項－1 学力の向上

○区学力調査問題の通過率は4月の調査では、国語＝81.5、算数＝81.9、2科＝81.7となり、国語、算数、2科の通過率とも区平均を上回る。1月の同一問題再調査では %、2月の次年度問題再調査では（2月の調査後記入）であった。引き続き、基礎学力向上策の充実が必要である。

・＜学力に関する結果分析＞

国語、算数とも区の平均値をやや上回る傾向にある（2科合計で1.0ポイント）学年や教科によっては、区の数値をやや下回る結果も見られる。

- ・6年生・・・国語は区の通過率を2.1P上回り、算数は3.1P上回る。
- ・5年生・・・国語は区の通過率を2.1P上回り、算数は1.8P上回る。
- ・4年生・・・国語は区の通過率を1.4P上回り、算数は0.1P上回る。
- ・3年生・・・国語は区の通過率を0.1P下回り、算数は1.0P下回る。
- ・2年生・・・国語は区の通過率を1.8P下回り、算数は1.7P上回る。

区の平均に届いていない学年や教科については、組織的な取り組みを進めていく必要がある

・今年度までの成果や結果を定着させ、学校としての力にするためには、今後も引き続き学力向上のための具体的な方策を実施していく必要があると考える。そのために学習環境を整え授業規律を徹底させることを基本とし、授業に集中できることを当たり前として、足立スタンダードによる授業をしっかりと定着させる。また学力調査の結果について詳細を分析し、その具体的な方策をたて、全教員が一丸となり徹底して実践を継続していく必要がある。

・問題解決的な学習を実施し、主体的・対話的で深く学べる学習の機会を増やし、授業を充実させる。

○教員の授業力向上に関する取り組みが必要である。

・若手教員研修会を定期的実施し、教員の育成に力を入れてきた。（若手研修は年間30回実施）、ミドルリーダー研修会については、実施及びその成果に関する検証が不十分であるため、今年度、特に力を入れていく。また管理職が毎週の学習計画を確認、定期的な授業観察は定着しつつあり、授業観察後の「アドバイスシート」と校長からの指導助言は、授業力向上へとつなげる源と考え、努力を重ねてきた。しかし、個々の教員のスキルアップにはまだ個人差があり、学校としての力としていくためには、更なる継続が必要であると考え。よって今後も、今年度の成果を生かしつつ、課題を解決すべき具体的な方策を見出し、引き続き、教員の授業力に努めていく必要がある。

D 今年度の目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策
別紙 「平成31年度 学力向上アクションプラン」参照		

重点的な取組事項－2 幼保小中の連携

A 今年度の成果目標	達成基準
連携の推進を通して、円滑な接続とともに、欠落のない接続を目指す。（今年度より鹿浜菜の花中ブロックでの連携を行う。）	・効果的な連携ができたと考える教員100%

B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
中学校教員との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会、小中交流会8回を実施し、各校1回ずつ授業研究、協議会を実施する。 ・校長間の情報交換を密にする（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の研究授業実施 ・9年間を見通した教科、生活指導計画の見直し ・学校の状況について情報を提供する（学力調査結果概要や生活指導状況等） ・鹿浜菜の花中ブロックでの連携、交流を行なう。

保育園との交流	<p>全教員による保育園見学会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回以上の保育園児と低学年の交流事業 ・保育園への保護者会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員で保育園、学童の施設見学と園長との話し合いを実施 ・授業体験、公開授業、図書室見学、給食体験、体育的学芸的行事等への招待 ・年長保護者会での校長講話の実施
教員同士と児童、生徒同士の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業：3回以上 ・夏季補充教室：10日間 ・部活動、授業体験：1回 ・中学校説明会：1回 ・あいさつ運動の実施 	<p>出前授業：英語、算数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季補充教室：指名補習 ・部活動、授業体験：学年末考査中 ・中学校説明会：生徒会が来校 ・生徒会と連携したあいさつ運動

重点的な取組事項－3	心の教育の推進
-------------------	---------

A 今年度の成果目標	達成基準
思いやりの気持ちと態度の育成 規範意識の向上 (親切、思いやり、礼儀、規則の尊重、公德心)	児童アンケート結果の向上 ・「あいさつ、返事、くつそろえ」に関する調査、児童の肯定的な自己評価80%以上

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策
道徳教育及び道徳の授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳に関する研修会及び研究授業を3回以上実施する。(外部講師招聘) ・授業観察における道徳の授業を全教員が実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事予定に校内研究日を設け、道徳の研修会を、年間3回以上行う。 ・授業観察時に各教員年間1回以上道徳を行い、校長より指導講評を受ける。
気持ちのよい挨拶の推進 規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートで、挨拶、規範意識に関する項目80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ、返事、靴そろえ」を共通目標とし年間を通して指導する。 ・児童の挨拶運動を通年実施する。
交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし学級と普通学級の交流活動を実施(1学年1回) ・高野小特別支援学級と交流活動を実施(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし学級の児童と普通学級で授業や行事で交流を行う。 ・高野小学校と連携し、スポーツ、歌、ゲーム活動の交流を行う。
伝統文化を大切にす活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内俳句コンクール実施(年3回) ・環境カルタ大会、百人一首大会への参加 ・地域の伝統文化に関する出前授業を実施(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に俳句活動作品作りを行う。 ・環境カルタ大会、百人一首大会に向けての練習の機会として校内大会を実施する。(参加希望者のみ) ・地域の伝統文化の保存に取り組んでいる方々と連携して授業を実施する。
地域や社会とのつながりや環境を大切にす活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において環境教育を実施(各1回以上) ・児童会等で環境活動及び地域や社会に貢献する活動実施(3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に中学年は足立区、東京都の環境について、社会科との合科で学ぶ。また5年生は鋸南で海浜清掃、6年生は日光の自然へと視野を広げ、発達段階に合わせて取り組ませていく。 ・代表委員会、環境委員会等で「なかまプロジェクト」「校内ごみゼロウィーク」などの環境活動・社会貢献活動を実施する。